

● 将来像実現のための活動プランについて

各基本方針に沿った、ご自身や会社、地域、団体で取り組まれていることやこれから取り組みたいことについて、以下の意見がありました（一部抜粋）。

基本方針 1「安全・安心に暮らせる」

- ・住民目線からの問題点把握と速やかな改善のため、組長懇話会および地域の安全パトロールを実施
- ・住民同士のコミュニケーションを深めるため、福祉委員会と自治会との共催による様々なイベントを実施
- ・美原消防団、丹上青年団に所属し、消防訓練や地域の防災訓練に参加
- ・未就学児の親子がつながれる親子サークルの運営
- ・防災パッククッキングの調理体験
- ・防災センターや大型商業施設を交えた防災訓練の実施
- ・区内企業・個人からの寄付金による基金を設置
- ・モビリティマネジメントの実施(マイカーから公共交通機関への転換)で、公共交通の維持や渋滞緩和などに寄与
- ・区内小学校や中学校での美原消防署や黒山警察署による出前授業を開催し、消防や警察の仕事への興味を深め、防災・防犯への意識を高める

基本方針 2「魅力的で訪れたい」

- ・堺市、警察署、消防署各々と日本郵便(株)において包括連携協定を締結しており、郵便局において行政情報の発信に協力
- ・美原区内の郵便局 3 局にまちなか文庫を設置しており、読書習慣の定着に寄与
- ・企業情報の見える化をとおして人材不足解消や雇用の拡大
- ・活躍しているフリーランサーや起業家などを SNS などで紹介
- ・空き家バンクなどの情報発信
- ・ストーリー性がある体験型・共感型コンテンツの開発・推進
- ・だんじりをアピール（菅生神社でパレードをする際、よく見える場所を確保する）
- ・近隣地域の方に訪れてもらえるようなイベントを開催
- ・地域の歴史的な場所のマップ作り、ツアー開催
- ・ウッドフェアのような木材団地のイベント
- ・ネット配信ラジオ美原

基本方針 3「やってみたいが実現できる」

- ・前回の美原区政策会議の意見を参考に、チャレンジをサポートできる仕組の構築
- ・体験型イベントの実施・継続
- ・学校、企業、地域住民と一緒に連携できるしくみづくり
- ・自治会活動を持続可能なものにするため、各種委員会との協力体制づくりや担当者の役割分担を明確にするなど、運営の負担軽減を図っている

● 区民とともにめざす美原区の将来像について

現行の将来像や次期美原区基本計画へ追加したい想いやキーワードなどについて、以下の意見がありました（一部抜粋）。

現行の将来像引継ぎが良いと考える理由

- ・ある程度時間をかけて現行のものを根付かせた方が良いと考える
- ・特に、「一緒に挑戦しよう」に共感している

追加したい想いやキーワード

- ・美原区で子育てをしたいと思ってもらえるような魅力の創出・発信が大切
- ・子育てで「選ばれる」まち
- ・転入促進、定住支援
- ・持続的に発展（特産品のブランド化、滞在型・体験型観光コンテンツなど）
- ・すべての人の笑顔があふれる（誰もが活躍できる、子育ての希望が叶うなど）
- ・安全・安心で豊かな生活環境
- ・住みたい街（外から美原区に住みたい人を増やす、中から美原区に住み続ける人を増やす）
- ・古代米プロジェクトの田植え・稲刈り体験のような、体験型・共感型の魅力づくり
- ・古代米プロジェクト、朝市、その他の活動(マルシェ等)など、「食」に関する取組を計画に追加
地域の食を地域で流通させていくことは、昨今の社会情勢を鑑みても非常に重要であり必要不可欠